

2021年7月30日

株式会社百五銀行  
中部電力ミライズ株式会社

## 三重県産 CO<sub>2</sub>フリー電気で、百五銀行岩田本店棟を、脱炭素化へ

株式会社百五銀行（取締役頭取 伊藤 歳恭、以下「百五銀行」）は、岩田本店棟（三重県津市岩田 21 番 27 号）で利用する電力として、中部電力ミライズ株式会社（代表取締役 大谷 真哉、以下「中部電力ミライズ」）と「三重美し国 Green でんき」の需給契約を締結し、8月1日より同プラン第1号として利用を開始いたします。

中部電力ミライズが提供する「三重美し国 Green でんき」は、三重県内に立地する櫛田川や宮川等の水系にある水力発電所で発電された電気に、同発電所に由来する環境価値を活用することで、CO<sub>2</sub>排出量ゼロにした三重県産の電気を、同県内を中心とした法人のお客さまに供給するもので、お客さまの脱炭素に向けた取組みにご活用いただけるものです。

百五銀行では、「百五銀行グループ SDGs 宣言」の重点課題の一つに「地球環境・地域環境の保全」を掲げ、環境保全への取組みを積極的に進めており、今回 CO<sub>2</sub>フリー電気の調達を行うことで、年間約 761t\*の CO<sub>2</sub>排出量削減につなげます。

また、今回の百五銀行と中部電力ミライズの CO<sub>2</sub>フリー電気の調達契約においては、「三重美し国 Green でんき」の電気料金収益の一部を、中部電力グループが保有する宮川第三水力発電所の改修支援等三重県内の再エネ電源の維持・拡大に活用することを規定しております。これにより百五銀行として、自社の CO<sub>2</sub>フリー化だけでなく三重県内の再エネ電源の維持・拡大の直接的な支援にも取り組み、かつ将来的に再エネ維持拡大を通じた雇用創出等による地域活性化、本取組みによって生まれた再エネの活用によるさらなる経済循環等をめざしてまいります。

百五銀行と中部電力ミライズは、地産エネルギーの有効活用と、さらなる地産再エネ電源の開発・活用の両立を図りながら、地域貢献に努め、三重県内の再エネ拡大に向けた取組みを推進していきます。

\* 2020 年度の使用実績値にもとづきます

以上



百五銀行は、再エネ電気の購入に加え、  
県内再エネ電源の開発支援に取り組んでいきます。



百五銀行は、岩田本店棟のCO2排出量削減だけでなく、再エネのさらなる普及拡大と、  
それを通じた地域経済の活性化等に貢献していきます。



- ・再エネの新規開発、リパワリング
- ・再投資によって生まれた再エネの活用によるさらなる経済循環 等

地域の再エネ普及拡大と経済の地域循環

【今回の支援対象】  
宮川第三発電所の  
リパワリング支援

# 今回の支援対象の再エネ発電所について

## 宮川第三発電所について

大台ヶ原山に源を発し、伊勢湾に流れ込む、清流宮川。

宮川の豊富な水資源を活かして、電気を生み出しているのが、宮川第三発電所です。

三重県が開発し、1962年に運用開始した発電所を、中部電力が譲り受け、現在まで運転を続けています。

【所在地】 三重県多気郡大台町  
【発電出力】 12,000kW  
【想定年間発電量】 約5,129万kWh

## 宮川第三発電所のリパワリング

老朽化の進む水車や発電機の取り替え工事を行うことで、年間発電量を2.4%程度、増やし、約16,400世帯分の再エネ電気を発電します。

(改修予定2023年10月)

